



# 発行第50号記念

平成20年6月1日に第1号を発行しました「みたか環境ひろば」も第50号を迎える運びとなりました。これもひとえに歴代のみたか環境活動推進会議委員や記事の掲載にご協力いただいた方々などのご支援のおかげであり、感謝申し上げます。今後とも環境に関する啓発に努めますので、引き続き感想などお寄せください。(みたか環境活動推進会議事務局)

## ■記念号を迎えてのご挨拶

(みたか環境活動推進会議会長 森 眞佐子)

「みたか環境ひろば」の第1号は、平成20年の6月に発行されました。「循環・共生・協働のまちみたか」を掲げ、みたか環境活動推進会議が発足し、多くの市民のみなさまに三鷹の環境について知ることにより、三鷹の環境に興味を持ってもらう事ができればと思い、発行したものです。今までに「野川の自然」「井の頭公園」「丸池公園」「大沢の里」などたくさんの三鷹の自然について取り上げてきました。その他、環境について日ごろ活動していた方々に集まっていたいただき懇談会を開いたり、エコミュージカルの公演などを行ったことを記事に取り上げてきました。その「みたか環境ひろば」が今回で第50号を迎えることができました。

市役所をはじめ市の公共施設で配布しているほか、過去に発行した「みたか環境ひろば」を全て市のホームページに掲載しております。みなさまからのご意見・ご感想をお待ちするとともに、引き続きのご愛読よろしく申し上げます。

## みたか環境ひろば 第1号

2008年6月1日発行

「みたか環境活動推進会議」が活動を始めています

循環・共生・協働のまちみたか

こんな三鷹を実現したい

みんなが考え、協働して環境保全に取り組む

より強方に循環型社会の形成に取り組む

緑と水が身近に感じられ、豊かな自然を守りぬく

健康で安全・安心に生活ができる

都市と緑が共生し、美しいまち並みがある

「循環・共生・協働のまち みたか」の実現を目指し、市民・事業者・市からなる「みたか環境活動推進会議」がつけられました。

三鷹市史よりは、「今までにない新しい取り組みが行われることを期待している」と言われています。また、まだ手探りの状態ですが、一歩一歩活動を進めています。6月の環境月間には環境博覧会形式と環境ミュージカルを開催します。ニュースレター「みたか環境ひろば」(月刊)を今月から発行します。また「みたか環境懇談会」を9月から開催します。

環境をよくする活動には、市民一人ひとりが身近でできることを地道に実行していくことが大切です。多くの市民の方が環境活動への参加がしやすいような仕組みを構築中です。多くの市民の方の参加を期待しています。



平成20年6月発行の第1号

## ■第1号から現在までを振り返る

(三鷹市生活環境部長 清水 富美夫)

「みたか環境ひろば」第50号の発行おめでとうございます。発刊以来、連続と発行が続けられたことは特質に値します。これもひとえに歴代のみたか環境活動推進会議委員の熱意と尽力によるものです。「みたか環境ひろば」の発行者である「みたか環境活動推進会議」は、平成14年3月に策定した三鷹市環境基本計画の進捗に必要な環境情報の収集・提供・交換や協働で環境保全の取り組みを進めるため、平成19年5月に設置されました。その後、平成20年に、市報やホームページを補完し、情報共有とコミュニケーションのひろばになることを願い、ニュースレターを発行してはどうかとの提案があり、発行することとなりました。

発行するごとに内容も幅広い話題を取り上げるようになり、充実した紙面になっていると思います。私も目を通すたびに新たな発見があり、毎号楽しみにしております。

この「みたか環境ひろば」がより紙面の向上と読者の増加を目指して、今後とも第100号・200号へと継続されることを希望してやみません。